

長井市公共複合施設整備市民検討委員会
議事録

令和6年2月14日

長井市公共複合施設整備市民検討委員会 出席者名簿

■委 員

No	氏 名	所 属 等	出 欠
1	加藤 俊昭	長井市社会教育委員会 委員長	出
2	長沼真知子	長井市振興審議会 委員	出
3	横山 敬生	長井中央商店街振興会 会長	欠
4	倉持 宏幸	長井市立図書館 館長	出
5	竹田 啓	長井小学校 校長	出
6	平 みわ	長井市図書館協議会 委員長	出
7	大津 君彦	市子ども育成会連絡協議会 副会長	欠
8	大峽登詩子	おひさま保育園 園長	出
9	鈴木 良昭	白山こども園 園長	出
1 0	鈴木 英明	本町大通り商店街振興組合 理事長	欠
1 1	村田 佳子	総合学習指導塾七色学舎	出
1 2	高世美恵子	株式会社高世工務所	欠
1 3	平 奈緒	公募委員	欠
1 4	渡邊 洋男	公募委員	出

(順不同、敬称略)

■事務局

1	齋藤 環樹	副市長
2	青木 邦博	技術参与
3	新野 弘明	総務参事（兼）地域づくり推進課長
4	佐原 勝博	建設参事（兼）建設課長
5	鈴木 幸浩	子育て推進課長
6	吉川 幸代	地域づくり推進課 補佐
7	鈴木 満成	建設課 公共施設整備室長
8	児玉 亘	建設課 公共施設整備室係長
9	佐々木 優	建設課 主任
1 0	遠藤 智恵	建設課 主任

1. 開会

2. 副市長あいさつ

本日はお忙しい中、今年度2回目、通算8回目となる公共複合施設整備市民検討委員会にご出席いただき、誠にありがとうございます。くるんとは、昨年7月末に全体が完成し、8月には市民向けのプレオープン、9月にはグランドオープンを迎えることが出来た。これまでご協力頂いた委員の皆様はじめ、市民の皆様のおかげであると考えている。

オープン以降の来館者数は、順調に伸びており、10月には早々に10万人を達成し、先月1月末には20万人を突破したところである。利用者の皆様からは好評のありがたいお声をいただいております、引き続き多くの皆様に来館していただけるよう、運営に力を注いでいきたいと考えているところである。

本日はオープンから半年ほど経過したくるんとの運営状況などを報告させていただく。また、会議の後には運営中のくるんとの様子をご覧いただければと考えている。

なお、整備に係るこの検討委員会は今回で終了。委員の皆様には、令和2年10月に開催した第1回目から3年以上の長きにわたり、ご協力いただいたことに感謝申し上げます。以上、よろしくお願いします。

3. 委員長あいさつ

只今話があった通り、今回足掛け3年で8回目ということになる。皆様本当にお忙しい中、真摯にご意見等を出していただき心より御礼を申し上げます。今までの経過を振り返りながら、今後に向けたヒントがあるとすれば、何かしらの形でお伝えし、行く末を見守っていくことが市民としてのこれからの仕事であると認識している。今、20万人という大台を超え、素晴らしい入りだという報告を受けた。これもひとえに委員の皆様が真剣にこうあるべきであろうということを戦わせた意見の総まとめとしての結果なのではないかと嬉しく思っているところである。今振り返ると3年間この8回、早かった。ここで終るのはなんだか惜しいという気持ちも無いわけではないが、当然時は流れて次のことを考えなければならぬ時期が来たということで、本日が最後の会となる。どうか今日もまた、皆さんの真摯な、そして活発なご意見を賜りたい。そして、今後の運営等に向けた提言等できれば嬉しいと思っているので、ご協力のほどよろしくお願いします。

話はそれるが、先日くるんとの入口で焼き芋を売っていた。寒かったものだからあの匂いに誘われて買ってしまった。そして、その焼き芋の美味しいこと。くるんとで焼き芋が食べられるなんてこんなに嬉しいことはないなと思って帰ってきた。これからは様々なまとわりつきというものもくるんとに期待して良いのかなと改めて感じてきた。上手に施設を活用して頂ければ、市民に喜んでいただけるような手法等が見つかってきたり、ご協力していただける方の数も増えてきたりするのではないだろうか、改めて期待できるのではないかと思います。皆様ももしまだ召し上がったことがないという方がおられましたら、大変美味しいので、是非焼き芋を召し上がってみてほしい。

ということで、最後までよろしくお願い申し上げます。挨拶に変えさせていただきます。

4. 報告・協議

- (1) 施設整備工事の経過について
- (2) 施設運営状況について
- (3) 本検討委員会について

資料1、資料2、資料3について事務局から説明し、質疑応答をおこなった。

委員：くるんが開館したおかげで、旧長井小学校第一校舎についても土日は子ども連れや若いファミリー層の利用が増え、大変よかった。ありがたく思っている。色々なイベントをされているが、エントランス前やエントランスホールがイベント会場となっている。条例で多目的ルームや学習室、ボランティア室は料金が決められていると思うが、エントランス部分については料金の設定はされているのか。また、貸室の稼働率や実際にどんな団体が申請して利用しているのかについて伺いたい。

事務局：施設長が本日欠席のため、お答えできるところだけお答えする。まず前庭の部分については料金設定があり、貸し出しできる状態になっているが、エントランス、中央部分については、基本的には指定管理者の主催事業について使用している形。今のところ料金設定はしておらず、貸し出しをする前提では運用していない。土日にかかなり人が並んだり、時間帯によって千人くらいの列ができたりするため、貸し出しについては少し制御しながら必要であれば条例上で料金設定していく等の形もとれるかと思う。貸室に関しては、基本的にはくるんの本来目的で使用いただく、例えば学習室兼視聴覚室は、学習する方や図書館の静読室として利用いただくイメージ。ボランティア室についてはボランティアの方に使っていただく。多目的室については、あそびばを利用しているお子様連れのお客様に飲食スペースとして利用していただけるようにピクニックエリアということで設定している。貸室前提というよりは、料金設定をして占有されすぎないような形をとっている。指定管理者の方で、本来目的、例えば学習室であれば、日中は貸し出しできるが、学生が多く来る夕方4時以降は占有した貸し出しはできないというようなコアタイムを決めていただき、その他の貸し出しについてはホームページ等で広く周知をしていただいている。多目的室はもっと自由に使っていただけると思うが、そのようなこともあって、占有して利用する団体というのはあんまり多くはない。会議や視察等を使用するケースが多いのではないかと印象。

委員：多目的ルームを社交ダンスのサークルが使っていたという話を聞き、そういうことにも使用できるのかと思って質問したところである。

委員：くるんとが開館して、すごく賑わいを感じている。おひさま保育園で子育て支援センターの委託を受けて運営しているところであるが、土日の一時預かりの利用者が非常に多く増えている。皆さんから助かっているという声を聴き、嬉しく感じている。子育て支援センターに関しては、今後、小さいお子さんが親子で楽しめるイベントを考えていきたいと感じている。

個人的には、息子が受験生で、くるんと図書館を大いに利用して夏休み等勉強させてもらっている。混んでいる時は旧長井小学校第一校舎に行き勉強するとか、反対に旧長井小学校第一校舎がいっぱいだからくるんとに行き勉強しようなどと考えて利用しているようで、すごく良い施設をつくっていただいたと感じている。下の子が6年生なのだが、6年生までしか遊べないということで、あそびばに何回も来たりしている。お正月には県外ナンバーの車が沢山あり、市外から長井市に沢山の方が来てくださっていた。継続できるような運営をしていくにはどうしたら良いかということ、知恵を出し合って市外から人を呼び込むことを継続していけたら良いと思う。

委員：資料にもある通り、パースと変わらない完成度の高さ、本当にあれができるんだなと中に入ったり利用させていただいて実感しているところである。

20万人という大台も短期間で達成し、皆さんの関心の高さがうかがえる。7割くらいが市外の利用者ということで、旧長井小学校第一校舎の利用も含めて長井を訪れてくるんとを利用したその足でまちなかや市内の様々なところに立ち寄ってお金を使っただけのように、タイアップや同時にできることがあったらもっと良いのではないかと感じている。小学生の保護者から聞こえてきた声であるが、あそびばでもう少しスキルアップできるようなメニューがあったらなお良いという意見もでているようである。今後、そういった点も課題としてとらえていただければと思う。

委員：先ほど委員長から話があったが、エントランスにキッチンカーが出ているということで、我が家の子どももよく図書館を利用しており、気分転換によく利用はしているのだがテナントで入っているお店で昼食をとるのは高いため、焼き芋屋さんがあり、その焼き芋でお腹いっぱいになったという話を聞いた。おもちゃのアイディア箱さんとの言葉のやり取りがすごく良かったと私は感じた。決まりきった言葉でのお店屋さんとのやりとり。コンビニエンスストアで買い物してもそういった色々な言葉のやりとりというものはないと思う。昔の商店のイメージで、キッチンカーのお店屋さんとのやり取りは、本当に些細な言葉がけではあるが、「今日は寒いね」とか「勉強がんばってる？はかどってる？」などという言葉をかけていただき、今味わえない地域の方との言葉のやり取りをくるんとで体験できたということが私は嬉しく感じた。

また、子どもたちがくると旧長井小学校第一校舎と場所を棲み分けて気分転換をしながら学習をしていて、モチベーションを上げて楽しんで学習に取り組んでいるということを感じている。また、高齢で車を運転されない方たちはバスを利用して買い物に来るのだが、そういった方たちがくるとで一休みして家に帰るというような利用の仕方をしていると聞く。幅広い年齢の方たちが自分たちに合った形でくるとの施設を利用している。とても良い形になってきていると感じている。

委員：図書館を利用して気づいた点を何点か申し上げる。棚の構成が湾曲しているため、十進法分類の細かいところの表示が棚板の各背に表示されていると良い。新館以外の裏の方に行くと、並びがイレギュラーであるためなかなか探せないと感じている。

昨日から点検期間ということで、図書館を常にご利用していると掲示物やデジタルサイネージ等でわかるのだが、ホームページ等ネットで検索すると、本日のフェアの件は1件もヒットしなかった。カレンダー欄のイベント情報にもなかった。先ほど資料を拝見させていただいたところ、イベントが沢山あるようなので、今後周知を充実させてほしい。インターネット会員というのは本当に少ない。検索や予約の画面は米沢市と同じ。長井の図書館は穴場。インターネット会員が増えてくれればと思う。インスタグラムやツイッター等の整理も必要。

平日、土日と客層の違いはあるのだろうと思うが、夏休みや冬休み等は窓際の明るいテーブル席が絶望的に空かない。コワーキングスペースは時間制限があるが、テーブル席に時間制限はない。学生たちはずっといる。年寄は平日来なさいということか。学習室兼視聴覚室は明るくて大変良い部屋であるが、イベント等が無い日は開放しているのか。申し込みをして人がごちゃごちゃしていない部屋で図書の閲覧ができるのであれば良いと考えている。

もう一点、夜8時から9時頃に散歩するのだが、くるとの敷地内でスケートボードに乗っている人がいた。最近は見かけなくなったが、その点について把握はされているのか。また、スケートボードの利用についてはどのように考えているのか教えてほしい。

事務局：図書館の書棚の表示については、サインについて決める段階で話し合いをした。

引っ越しをする際に、きちんと書籍の点検をおこなってから書棚に本を収めることが理想であったが、4か月間という短い引っ越し期間であったため、書籍の点検をしない状態で全て運んだ。そして、今回初めての蔵書点検期間に図書館を閉館して全ての書籍をチェックする作業をしているため、今までは自動検索機でも書籍の細かいところまで表示できないというような状況であった。今回初めての蔵書点検をおこない、どの棚にどの書籍が収められているかということ把握した上で、表示の件については指定管理者に伝えていきたいと思う。インターネットに関する事についても指定管理者に伝えていく。また、席が空かないという問題については、

個室については90分に時間制限を設けるなどしているが、運用の面でどのようにしていくのが良いか検討し、見直すことができる点に関しては見直していきたい。スケートボードに関しては、指定管理者や子育て支援センター、市が一緒になって月に1回おこなっている会議の中でも話題になり、市の方でも気にしているという話をした。その後、施設長から声をかけ、排除するというよりは、施設を壊してしまうと修理費用がかかってしまうから大変だよというような話を柔らかく伝えたところ、その後は見かけなくなったという状況である。

委員：オープンに先立ち、学区でもあり、子どもたちを大切に想っていただき、様々な体験をさせていただいた。例えば1年生は親子行事で、ボールプールにボールを入れるイベントをさせていただいたり、2～3年生は見学の際にとっても丁寧にご説明いただいた。また、6年生の一部はキャリア学習ということで、施設見学に加え、働いている人の想いや、施設に込めた想い等を含めて説明していただき、地元の子どもたちを受け入れていただき、施設を紹介していただくとともに、様々な学ぶ機会をいただいた。今年度は途中からだったが、長井小学校以外も教育委員会と話をしてスクールバスを出していただけると周辺の学校の児童生徒もくるんとしてくることができる。どのように利活用していくと良いのかということ次年度以降小中学校で考えていくことで、子どもたちにとってプラスになる施設となるのではないかと考えているところである。

委員：6か月のデータが示された。非常に大きな伸びがあり、新しい図書館づくりに力を入れてきたので非常にうれしい。データに関して、専門的な立場から2点要望を申し上げる。1点目は来館者数についてである。令和4年度、いわゆるコロナ禍との比較で8倍と示されている。実は、令和元年の4月から10月までの7ヶ月のデータを旧図書館時代にとっている。その時は1日あたりの来館者数が161人であった。新館の6か月では575人。単純計算で3.6倍の増であり、この辺りの伸びととらえた方が現実的で、今後の対応に活かされるのではないかと。その伸びの中身について、旧図書館の利用者については市民の約3割、その半数が60歳以上の高齢者。目的は資料を借りて返すという通過型の利用がほとんどであった。図書館を利用していない7割の住民に対して、どうしたら図書館を使ってもらえるのだろうかという潜在的な利用者の開拓が長年の大きな課題であった。それが、新しい図書館でどう変わったのか。変わったとすればなぜ変わったのか。利用者の年齢層の変化であるとか、利用の目的の変化ということがありそうである。それから、あそびばとの相乗効果をねらって建設した訳だが、それは一体どうなっているのか等々、詳細な分析が必要であり、それが今後の運営のベースになるのではないと思う。2点目は貸出実績についてである。来館者数の伸びの割に貸出数の伸びが鈍いという印象がある。多機能型、滞在型というようになったが、図書館の本務は貸出である。人口あたりの貸出冊数を貸出密度といっており、図書館業界では貸出密

度がその図書館の実力を示すと言われている。コロナ前の令和元年の数字では、4.1冊という実績があった。第五次総合計画で、目標値を4.5冊とかかかげたので、だいぶそれに迫っていた。しかしコロナ禍となりダウンしてしまったというのが実状である。ただ、全国の2万5千人規模の実力のある図書館について図書館協会でデータを出しているのだが、その図書館の平均の貸出密度は11.2冊であり、かなりの開きがある。まずは、新しい図書館の貸出密度を明らかにすべきではないだろうか考える。以上2点、期待している。

事務局：年間の実績報告などを見せていただく中で、今いただいたご意見を資料として分析しながら良い形で進めていけたらと考えている。貸出件数については、この数字を見ると鈍いように感じると思うが、一方で滞在時間の長い方が多くみられる。ゆっくり1日かけて本を読み、次の日はまた別な本を読んで帰るという方も多いと聞いている。そういった点も影響しているのかなと感じているところである。

委員：先日図書館長とお会いした時に、アンケート調査をする予定だとのことを耳にした。その辺りの動きはどうなっているか。

事務局：先月、市の方でアンケート調査を100程集めた。運営協議会の際に資料として出したいということで、現在集計中である。内容としては図書館やあそびばについての要望、来館者の年代や居住地等を調べるためのアンケートである。結果がまとまりましたら運営協議会等で示していきたい。

委員：無事にオープンできて本当によかった。指定管理者の方とお話しする機会も多くある。一緒にイベント等できたら良いなと思っている。順調に来館者も伸びているようであるし、イベントもたくさんおこなっていただけてとても良いと思っている。

委員：無事にオープンして本当によかった。息子がボール入れの体験をさせていただき、大変興奮していた。その様子を見て、上の子は羨ましがっていた。ボールプールに関しては、県外だとお金を払わないと利用できない施設が多い。長井市では無料で誰でも利用でき、しかも東北最大級の大きさということで、県外の友人にたくさん紹介している。それを目的に長井市に沢山の方にもらえたら良いなと思っている。施設に関して、あそばせていて感じたことであるが、資料1の5ページにある外のひろばであるが、ターザンロープの側面に石積みがあるのだが、必ず登る。小さい子は遊具のボルダリングにいくのだが、小学生以上はこの石積みを登り、危ない場面も見かけた。子どもは高いところに登りたがるので、登って良い場所にするか、登らせないようにするかどちらかにした方が良いと思う。下で小さい子が遊んでいて上から落ちてきたりしたら危険である。草も生えているので考えてほしい。

また、夏場、暑い時期に逃げ場がない。子どもたちは気兼ねなく遊ぶのだが、それを見ているお父さん、お母さん、特におじいちゃん、おばあちゃんの逃げ場がないため、施設の近くの日陰にいるしかない状況だった。ベンチだけでなく、もう少し日陰のスペースを増やしていただけると、遊ばせている親としてはありがたい。

その他、イベントがたくさんあってありがたい。土日など、ちょっと空いた時間にくるんとに行けば何かやっているのではないかという思いがあり、行くと必ず何かイベントそしているのとても嬉しい。特にあそびばのステージでおこなっているイベントが小さい子にはとても楽しくて、ただ単に折り紙であっても、あんな風にイベントでしていただけるとみんな参加しやすくて良いなと感じた。それに付随して、参加しやすいという意味では、エントランスホールでおこなわれているイベントについてだが、この施設が出来上がった時に、あの場所をイベントで使うという考えが無かった。あの場所でやっていることで、なかなか入りにくいイベントでも、知らなくて来たとしても何か面白そうだなと気軽に参加できとても良いと感じた。これからもエントランスのスペースを是非活用していただきたい。

先ほど、図書館の利用件数という話があったが、母が高頻度で利用しており、貸出件数にかなり貢献していると思う。家で仕事をしているため、滞在して読んで帰ることができないこともあり、毎日のように図書館に足を運び、2冊ずつ借りてきて、お昼休みに返しに行き、その際に違う本を借りてきては喜んでいる。子どもたちは本を借りてきて読むタイプではなかったのだが、くるんとができたことで、あそびば目的に施設に行った際にちょっと図書館にも寄ってみようと思いを掛け、行ったり来たりすることで、以前の図書館よりもより活用できるようになったことが嬉しい。

事務局：外のあそびばについてお話す。まず初めに石積みの件であるが、フラワー長井線100周年、グンゼ創業100周年ということで、まさにここはグンゼの荷を下ろした遺構であるため、あえて残した。人工的なもので塞ぐよりも、注意喚起の看板等で対応してみたい。また、草はまめにカットしておくようにしたい。

また、日陰についてだが、植栽はしているが、これが生い茂るまでにはまだ時間がかかると思う。テント等の活用も含めて検討させていただく。

委員長：石積みについては、昔ながらの文化の遺構としてとても大切なものであるということで、ぜひ活用したいものだという話をした記憶がある。危険と楽しみの駆け引きということに関しては非常に難しい問題だが、楽しんでそういったものに触れるということも非常に大切であると思う。ここに存在する意義というものをきちんと受け止めていただきながら、危険を回避して楽しんでいただけるような姿を期待したいところである。理想を言ってなかなか難しいところであるが、皆さんで知恵を出し合って、今後も楽しむことが出来る施設になったらよいと思う。

委員：表示があると良いかもしれない。子どもが読めるような形で、これはどういうものなのかということが表示されていると、子どもたちも読んで学ぶことが出来ると思う。

5. その他

事務局、委員共に特になし

6. 閉会